

同時開催中

松江を代表する
伝統芸能団体の活動を紹介

場所：松江テルサ1F
時間：10:00~17:00

伝統芸能団体の紹介パネルと「佐陀神能」「亀尾神能」の面、衣装、用具の展示



蓼たたき体験

申込不要

場所：松江テルサ前
時間：①11:00 ~ ②12:00 ~

松江祭蓼行列で使われている蓼をたたけます。

協力：松江市警行列保存会



出雲そば、しじみ汁、和菓子などの地域特産品販売

場所：松江テルサ前及び1F
時間：11:00~15:00

松江の食文化をお楽しみいただけます。

- 釜揚げそば ●しじみ汁 ●和菓子、抹茶 ●赤貝飯 ●日本海の幸
- 干し柿 ●うなぎ弁当 ●ぜんざい ●日本酒 などなど



高校生と若手アーティストによるアートイベント

場所：松江テルサ前
時間：10:00~15:00

松江の高校生×アーティストによるコラボアート作品をライブで製作します。



参加アーティスト



3103*
(イラストレーター)



たかはしちかえ
(イラストレーター)



Pori
(イラストレーター)



やましたまほ
(イラストレーター)



路上詩人こーた
(書家)

参加高校

島根県立松江北高等学校
松江市立皆美が丘女子高等学校

島根県立松江商業高等学校
立正大学浜南高等学校

イベントの詳細はこちら



私たちは松江伝統芸能祭を応援しています。



(一社)松江観光協会
玉造温泉支部



TSK さんいん中央テレビ



松江書道会



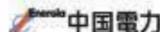
(一社)松江観光協会
美保関町支部

松江旅館ホテル組合

玉造温泉旅館協同組合

松江しんじ湖温泉旅館協議会

美保関旅館組合



(順不同)

プログラム

- 1 ゲスト団体 境港大漁太鼓(境港市)
- 2 正調関乃五本松節保存会(美保関町)
- 3 本庄町左義長しゃぎり保存会(本庄町)
- 4 玉湯まがたま太鼓(玉湯町)
- 5 熊野大社神事・八雲楽保存会(八雲町)
- 6 亀尾神能保存会(西持田町)
- 7 アートイベント作品発表
- 8 島芝翫節保存会(八束町)
- 9 島根町大漁節保存会(島根町)
- 10 子ども佐陀神能教室(鹿島町)
- 11 佐陀神能保存会(鹿島町)

〈同時開催〉

蓼たたき体験・地域特産品販売
アートイベントなど

令和5年

3/12日

13:00 ~ 17:00
(12:00開場) (終了予定)

松江テルサ

共催：松江伝統芸能祭実行委員会、松江市、松江市伝統芸能文化保護育成協議会
後援：島根県、島根県教育委員会、松江市教育委員会、中海・宍道湖・大山圏域市長会、
松江菓子協会、宍道湖漁業協同組合、松江そば組合、TSKさんいん中央テレビ



題字：路上詩人こーた(書家)

ゲスト団体 境港大漁太鼓(境港市) 演目 境港大漁太鼓



境港大漁太鼓は、山陰の民謡「関の五本松節」の歌詞の中にある「関と境に一本橋かけて、一夜通いがしてみたい」と唄われた、夢のかけ橋(境水道大橋)の開通記念事業の一環として、境港ライオンズクラブをはじめ地域の方々の温かいご支援・ご協力のもと、また、東京・八王子太鼓龍神会 花上訓夫会長のご指導を仰ぎ、地元若き有志たちの猛稽古によって昭和47年に誕生しました。

結成から50年の長きに亘り打ち続ける「みなとのまち・さかなのまち」境港を象徴する代表曲「境港大漁太鼓」は、出船・入船の情景をリズムにとらえ、大漁の喜びと漁師の力強さをダイナミックなパチさばきで打ち上げる勇ましい海の太鼓です。

見どころ 力強く、ダイナミックなパチさばきです。



正調関乃五本松節保存会(美保関町) 演目 関の五本松節、ホーライエッチャ



江戸時代、美保関に入る船は山に立つ五本の黒松を目印にしていたが、松江藩主が美保神社への参拝の折、路面の狭さや眺望が遮られると、その内一本を切らせました。民謡「関乃五本松節」は、せめて残りの4本の松は、夫婦松として末長く栄えるようにと船人達が祈りを込めて歌ったと伝えられています。

毎年1月には、美保神社拝殿において「正調関乃五本松節」が奉納されます。この奉納は美保神社のご祭神「事代主命(ことしろぬしのみこと)」「通称えびすさん」がこのほか歌舞音曲を好まれたという故事に因み行われます。

見どころ 演奏者と唄の配列が「マツエ」になっていること、唄の頭に春・夏・秋・冬の文字を入れて、松江の同情を唄っているところです。



本庄町左義長しゃぎり保存会(本庄町) 演目 祇園囃子(ぎおんばやし)



本庄地区での左義長しゃぎりは正月3日、歳徳神の神輿をしゃぎりの囃子で囃し立て町内を練り歩く宮練り行事です。普段は「とんどさん」と呼んでいます。これは新しい年の繁栄と五穀豊穡、大漁を祈って行われているもので、歴史は古く徳川幕府創始期に始まると言われています。過去に中断した時もありましたが、昭和46年「本庄町左義長しゃぎり保存会」を結成し復活。宮練り行事も平成5年に復活して現在に至っています。

見どころ 勇ましい掛け声と、笛、太鼓、三味線、チャンガラなどの楽器の演奏に注目してください。



玉湯まがたま太鼓(玉湯町) 演目 まがたま太鼓 1番、2番、3番、キッズ曲



まがたま太鼓は、昭和53年に玉湯町の活性化を目指して活動をスタートしました。昭和61年に教育活動の一環として玉湯小学校の部活動として受け継ぎ、平成28年に部活動が終了するまで、玉湯町夏祭りや町民体育大会など地域の行事で演奏してきました。

現在は保護者運営による社会活動として継続して活動を続けており、昨年からはスタートした「まがたま太鼓キッズ」に低学年の団員が加入して賑やかに活動しています。

見どころ 子どもが元気に太鼓をたたいている姿と、太鼓の途中に踊りの要素が入っていることです。

熊野大社神事・八雲楽保存会(八雲町) 演目 菅搔(すががき)、春の曲、幣舞(みてぐらまい)



熊野大社八雲楽は、吉備楽の流れをくむといわれており、熊野大社で独自に伝承されてきたものです。岡山県より吉備楽が広められ、これを習いながら独自に詞や舞を考案し、楽器も打、弦、吹奏と取り揃えて、明治41年より現在の八雲楽として熊野大社の祭典にはなくてはならないものとして伝承されています。

見どころ 熊野大社では演奏しない「菅搔(すががき)」と、小学生が頑張る「幣舞(みてぐらまい)」です。



亀尾神能保存会(西持田町) 演目 国譲(くにゆずり)



亀尾神能の起源は明らかではありませんが、江戸中期には既に行われていたとされています。佐陀神能と同系統のもので、松江市西持田町に鎮座する持田神社の亀尾地区の氏子で代々継承されてきました。近年は近隣の方にもご協力頂きながら継承に努めています。

毎年、4月第四土曜日の持田神社例大祭の夕刻より持田神社拝殿において神能奉納を行っています。

見どころ 笛・太鼓と舞の息の合った場面が随所にあるところです。



島芝翫節保存会(八束町) 演目 島芝翫節(しましかんぶし)



波静かな中海に浮かぶ大根島…八束町には古い歌が残っています。中でも「島芝翫節」は江戸時代・文政の頃、江戸の歌舞伎で名のあった「中村芝翫(なかむらしかん)」「嵐璃寛(あらしりかん)」「市川門之助(いちかわもんすけ)」「市川蝦十郎(いちかわえびじゅうろう)」等の芸風をたたえて歌われたもので、大阪歌舞伎俳優によってこの地方に伝えられたと言われています。約二百年たった今では、全国で唯一この大根島だけに残っていることで「島芝翫節」と言っています。

平成2年に保存会を立ち上げ、現在約10名の会員でこの伝統芸能の保存と継承に努めて頑張っています。

見どころ 小学生の頃にクラブ活動で取り組んでいた若者が、今回地域を盛り上げるために出演してくれたところです。

島根町大漁節保存会(島根町) 演目 島根町大漁節踊り、若松様踊り



大漁節の元歌は、島根半島各浦々の漁村で漁師が鵜(うめ)を追って檜や樺(かい)でイワシ網漁に出かけ、網いっぱい捕れたイワシの大漁を祝って、浜で御神酒を飲みながら旗御舞節(はたごまいぶし)と言う曲名で、手拍子で唄っていたものです。唄い継がれていた旗御舞節(はたごまいぶし)を昭和40年代に半島民謡保存会が三味線に太鼓を取り入れアレンジし、日舞の踊りに加え、更に網曳き所作も取り入れ、にぎやかな芸能として島根町大漁節となりました。若松様も大漁節と共に、島根町の伝統芸能として継承しているものです。

見どころ 全国でも珍しい、樺を持って踊る姿です。

子ども佐陀神能教室(鹿島町) 演目 山神祭(さんじんさい)



子ども佐陀神能教室はユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「佐陀神能」の継承と青少年の育成を目的に、令和元年にスタートして今年で4年目になります。

現在は鹿島町を中心に松江市内から16名の小中学生が練習に励み、佐太神社の御座替祭(ござえきさい)などで奉納しています。

見どころ 神様が柴(しば)を取り合うところと、大山祇命(おおやまつみのみこと)が悪魔祓いの剣舞(けんまい)をするところです。

佐陀神能保存会(鹿島町) 演目 日本武(やまとだけ)



佐陀神能保存会は松江市鹿島町に鎮座の出雲二ノ宮佐太神社の御座替祭で演舞する神楽の伝承に取り組んでおり、佐太神社をはじめ近郷諸社の神職や松江市内の有志15名ほどで活動しております。

「佐陀神能」は七座神事・式三番・神能の三部からなり、江戸時代初頭に現在の形に整えられ、各地の里神楽に少なからず影響を与えたと言われています。

先人の不断の努力により今日まで継承されてきましたが、これを後世へ繋いでいくため日々研鑽に努めております。

見どころ ゆったりとした地謡(じうたい)に合わせて物語が進行します。囃子方は太鼓・大鼓・小鼓・龍笛・銅拍子を用い音楽性も豊かです。

